

# 地域活性学会 2014年度総会資料

(敬称略)

司会進行：(議長) 本部担当理事 御園慎一郎

日時：2014年7月5日(土) 9:20～9:50

会場：東京農業大学オホーツクキャンパス(網走市) 8号館 8-301(第1会場)

## — 次 第 —

### 1. 報告事項

- (1) 2013年度活動報告
- (2) 事務局の変更について

### 2. 決議事項

- 第1号議案 2013年度決算承認の件
- 第2号議案 2014年度予算案・事業計画案承認の件
- 第3号議案 役員の一部改選について

### 3. 次回開催校について

- 日程：2015年9月5日(土)・6日(日)
- 会場：大手前大学 さくら夙川キャンパス  
大阪・梅田から電車20分  
(JR：さくら夙川、阪急：夙川、阪神：香栢園)、徒歩10分



2014年度総会は定足数(委任状を含む)を満たし有効に成立しました。  
議案につきましては、原案通り可決されました(事務局)。

# 1. 報告事項:2013 年度活動報告

## (1) 地域活性学会の活動

地域活性学会は、

- ①地域活性化を担う専門的な人財の育成 (教育)
  - ②地域活性化の理論と方法の学際的な探究 (研究)
  - ③地域活性化に関する研究成果の地域への還元 (地域貢献・政策提言)
  - ④地域活性化に関する国内外の研究ネットワークの構築 (国内連携・国際交流)
- の4点を柱に据え、活動しております。

これらの活動を推進するために、下記委員会を設け、研究と交流を進めています。

- ①総務・企画委員会(委員長：尾羽沢信一理事)  
学会の運営全般、研究大会、理事会等の運営を所管しています。
- ②広報・交流委員会(委員長：高松和幸副会長)  
学会の活動内容・成果を広く国内外に発信するとともに、地域間交流、国際交流を推進しています。
- ③研究推進委員会(委員長：館逸志副会長)  
各種研究活動の推進を支援しています。
- ④学会誌編集委員会(委員長：野中資博副会長)  
学会誌「地域活性研究」を年1回募集、査読、編集、発行しています。

## (2) 2013年度活動実績 (前回大会以降)

### ①研究大会

第5回研究大会 2013年7月20日(土)・21日(日) 高崎経済大学

参加者数 (延べ数ではなく純参加者数)

	(人)
20日	236
21日	41
合計	277

### ②理事会

#### 2013年度第3回理事会

日時：2013年9月25日(水) 18:00～20:00

場所：法政大学 ボアソナード・タワー

内容

1. あいさつ
2. 各委員会・部会からの報告等
3. 支部設立について
4. 部会設立の件 (離島振興部会)
5. その他

### 2013年度第4回理事会

日時：2013年12月3日（火）16：30～17：15

場所：法政大学 ボアソナード・タワー

内容：

1. あいさつ
2. 各委員会・部会からの報告等
3. 支部設立について  
近畿支部、関東支部他
4. 事務局体制の変更について

### 2013年度第5回理事会

日時：2014年3月18日（火）18：00～

場所：法政大学 ボアソナード・タワー

内容：

1. あいさつ
2. 各委員会・支部・部会からの報告等
3. 第6回研究大会（北海道）について
4. 研究誌 Vol.5 発刊について
5. 事務局の事業構想大学院大学への移転の件
6. 役員人事について

## ③支部活動

### 北海道支部

#### 第1回北海道支部研究会

日時：平成26年4月12日（土）15：00～17：00

会場：一般社団法人北海道活性化機構事務所

内容：支部会運営について 支部長の選出、今後の支部運営ほか  
基調講演 木村俊昭 仮題『北海道における6次産業化の動向』

#### 第2回北海道支部研究会

日時：2014年6月14日（土）15:00～17:00

会場：一般社団法人北海道活性化機構事務所

次第：報告事項

- (1) 最新の地域活性化の動向(話題提供)  
木村俊昭 (本学会理事・北海道支部長 東京農業大学教授)
- (2) ワイン・クラスター研究の変遷と応用可能性  
長村知幸 氏(小樽商科大学 専門研究員)
- (3) 出席会員間対話

## 関東支部

### 設立総会兼セミナー

日時：2013年12月3日（火）17:30～19:30

場所：法政大学 ボアソナード・タワー

内容：趣旨説明等（岡本支部長、大宮会長）

記念講演「地域イノベーションの構想」 清成忠男特別顧問

講演「地域活性化事務局における地域活性化施策」

福浦裕介理事（内閣官房地域活性化統合事務局次長）

設立記念交流会

### 関東支部研究会

日時：2014年3月29日（土）13:30～16:00

場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー

テーマ：「イノベーションの地域偏在性はなぜ？」

内容：

問題提起 吉川智教（早稲田大学大学院教授）

コメント1 佐藤 充（法政大学大学院博士課程）

コメント2 清成忠男（法政大学学事顧問）

パネルディスカッション

吉川智教（早稲田大学大学院教授）

佐藤 充（法政大学大学院博士課程）

清成忠男（法政大学学事顧問）

岡本義行（法政大学大学院教授） コーディネーター

## 近畿支部

### 平成25年度第1回関西研究会・近畿支部創立会

日時：2013年11月30日（土）15:00～17:00

場所：関西大学うめきたラボラトリ

テーマ：「地域活性化に向けた有馬温泉の取り組み～

講演：有馬温泉旅館共同組合 専務理事

株式会社 御所坊 代表取締役 金井啓修 氏

### 平成25年度第2回近畿支部大会（第3回関西研究会）

日時：2014年3月29日（土）14:00～16:00

場所：大手前大学 さくら夙川キャンパス CE棟

テーマ：「スイーツと元気な街」

共催 西宮商工会議所／協賛 大手前大学

講演「スイーツへの熱い思い」

ケーキハウス ツマガリ 製菓技術者 津曲 孝

スイーツプロジェクト「西宮洋菓子研究会」紹介

西宮商工会議所 産業観光推進チームリーダー 主幹 大濱 剛

## 九州・沖縄支部

### 発足会・交流会

日時：平成26年2月15日（土）15：00～19：00

場所：九州大学 箱崎キャンパス産学連携棟 I シリコンバレールーム

内容：

趣旨説明 永松俊雄（崇城大学）

基調報告 谷川 徹（九州大学）

緒方 修（沖縄大学・NPO 法人アジアクラブ理事長）

嶋野武志（長崎大学）

活動報告 交流会

## ④研究部会

新たに、「離島研究部会」が発足し、8部会となりました。

文化観光部会

防災研究部会

地域イノベーション部会、

地域活性化人財教育部会

温泉・健康サービス部会

地域活性化メソロジー研究部会

スポーツ振興部会

離島研究部会

部会活動は、部会長を中心に研究会の主催、共催、後援、他団体との連携・協力して活動しております。また研究大会で成果報告を行っています。

### 温泉・健康サービス部会

1. 月例勉強会 25年4月～26年3月まで計7回共催

2. 健康と温泉フォーラム2013イン阿賀野市（25年9月）後援

3. 第2回名湯百選@シンポジウム2013（25年11月）後援

### 離島振興部会

第1回部会

日時：2013年11月14日（木） 19時～22時

会場：NPO 法人市民活動情報センター 東京事務所

### 地域活性化メソロジー研究部会

第2回研究会

日時：2013年4月24日（水）19：00～21：00

場所：應義塾大学日吉キャンパス 協生館3階「C3N14」教室

テーマ：「地域活性領域の研究動向」

第3回研究会

日時：2013年11月25日（月）19：00～21：00

場所：應義塾大学日吉キャンパス 協生館3階「C3N14」教室

内容：「地域活性化の方法論-横浜市における市民協働の事例から-」（仮称）  
 横浜市政策支援センター 関口昌幸  
 「域活性化の専門家派遣の効果的な実施方法に関する調査研究の報告」NTT データ経営研究所 村瀬博昭

⑤機関誌発刊

「地域活性研究 Vol.5」 (ISSN-2185-0623)

発行日 201年3月31日

発行部数 1,000部

応募論題 57本

掲載本数 46本（うち査読付き38本）

内訳：論文5本、研究ノート15本、事例報告18本、事例紹介8本）

※事例紹介は査読なし

編集責任者 学会誌編集委員会委員長 野中副会長

⑥ニュースレター

電子メールにて全会員に配信しております。

No.70～99まで計30回発行しました。

(3) 会員の状況 (2014年7月1日現在・敬称略)

会員種別	今年度	昨年度	一昨年度	増減 (今年度・昨年度比)
個人会員	473	420	380	+53
学生会員	158	155	139	+3
団体会員	20	20	19	0
合計	651	595	538	+56

【うち個人会員(学生会員を含む)の属性】

	今年度(人)	%
大学・研究者	229	36.3
一般企業	111	17.6
団体職員・行政関係者	106	16.8
学生(社会人学生含む)	158	25.0
その他	27	4.3
合計	631	100

## 【団体会員】

### 企業

網走信用金庫、株式会社公共ファイナンス研究所、株式会社サイモンズ、  
株式会社生活構造研究所、全国ソフトウェア協同組合連合会、株式会社宣伝会議  
ダズリング・ナイン株式会社、株式会社談広告、株式会社 Fortune&Success 岡山 office  
株式会社エムシージャパン

### 市町村

伊達市（北海道）、熊野町（広島県）、北杜市（山梨県）、松本市（長野県）

### 大学

沖縄大学地域研究所、法政大学地域研究センター、松本大学

### NPO

NPO 法人アジアクラブ NPO 法人浅間山山麓国際自然学校

## 2. 報告事項:事務局の変更について

当学会設立以来の事務局業務委託先である株式会社エイチ・ユー教育事業部（法政大学関連会社）より、2013年3月末をもって、業務委託契約を終了したいとの申し出があり、2013年12月3日開催の理事会において了承されました。2014年4月からの事務局委託先につきましては、理事会等において検討した結果、2014年3月18日開催の理事会において、事業構想大学院大学に委託することに決定しましたので、ご報告申し上げます。

事務局業務委託先（2014.4.1より）

大学名	事業構想大学院大学（専門職大学院）
設置者	学校法人東教育研究団
理事長	東 英弥（当学会理事）
所在地	東京都港区南青山3-13-16（表参道駅下車1分）
設置研究科	事業構想研究科事業構想専攻
学長	清成忠男（当学会特別顧問）

委託内容 別紙仕様書のとおり

委託費については、設立当初の事業計画通り、収入額の30%とする。

（参考1）

地域活性学会会則 第22条 本会の会務の遂行のために、事務局を置く。  
同 内規 2. 本会の事務局は、理事会の定めるところに置く。

（参考2）

2014年度以降 地域活性学会事務局業務仕様書

地域活性学会

### 1. 事務所・備品等

- (1) 事務所設置場所  
事業構想大学院大学内
- (2) 電話・FAX  
大学と共用の番号（学会連絡先として公開できる番号を設定下さい）  
※通話料、回線使用料等は委託費に含む
- (3) スタッフ体制  
大学教職員が兼務
- (4) ホームページ  
ホームページサーバー、アドレスは学会が保有  
※維持・更新にかかる費用は学会予算から支出
- (5) パソコン、消耗品等  
事務に必要なPC、プリンタ等の設備は大学で準備（共用で可）  
※日常業務に関わる文房具、消耗品費は委託費に含む。  
※備品類、大量の消耗品類は学会予算から支出



- (6) 保管場所  
会員台帳、議事録、帳簿、通帳、印鑑、研究誌在庫等の保管スペースを事務局内に確保すること。

## 2. 日常の事務業務

- (1) 会員管理
  - ①入退会受付
  - ②会員名簿の管理（所属、連絡先等変更の更新）
- (2) 出納業務
  - ①年会費の徴収（自動引落、振込）
  - ②大会参加費、出版物の代金徴収
  - ③支払事務（請求書、謝金、交通費精算等）
    - ※基本的には手許現金はおかず、預金のみで管理
- (3) 問合せ対応
  - ①外部からの問合せ（取材・講演依頼等の取次、後援依頼の受付等）
  - ②会員からの問合せ
  - ③入会希望者からの問合せ

## 3. 研究大会の運営

- (1) 会場の下見・打合せ
- (2) プログラムに関する事務（プログラム構成、講師依頼等）
- (3) 予稿集の作成（Web化の予定）
- (4) 発表者に関する事務（発表受付、審査、原稿校正、案内状送付）
- (5) 参加者に関する事務（参加受付、案内状送付等）
- (6) 広報活動（開催地域自治体、商工会議所、経済団体、報道機関等への折衝）
- (7) 大会運営業務（会場設営、受付、発表会場運営等）
- (8) 総会運営業務（総会資料作成、委任状取得、役員出欠確認）
  - ※当日運営、下見等に係る事務局スタッフの交通費、日当、大会運営経費は、別途学会予算から支出

## 4. 研究誌の刊行

- (1) 投稿者の受付
- (2) 査読（審査）に関する事務（査読者への依頼、原稿受け渡し等）
- (3) 編集委員会への立ち会い
- (4) 印刷会社とのやり取り（校正等）
- (5) 発送作業
  - ※研究誌発刊費用は学会予算から支出。

研究誌のあり方や発刊スタイルについては、事業構想大学院大学の保有するメディアとも連携し、相乗効果を発揮できるように方策を模索することとする。

## 5. 部会、支部活動

- (1) 基本的には担当部会長、支部長に一任であるが、広報や参加者受付、会場確保などで側面支援を行う。

6. 理事会の運営（年6回程度開催。うち1回は大会前日に会場付近で開催）
  - (1) 会場の提供（東京での開催時）
  - (2) 議事・資料準備
  - (3) 案内状送付、出欠確認
  - (4) 会議への同席、議事録作成
  
7. 広報活動
  - (1) 会員向けニュースレター（メール一斉配信）の発行
  - (2) ホームページの更新
  - (3) 外部への情報発信、入会促進活動
  
8. 決算
  - (1) 年1回3月に決算を行い、帳票類（貸借対照表、収支報告書等）を作成
  - (2) 理事会で報告、総会で承認
  - (3) 監事に総会前に監査を受ける
  
9. 委託費  
収入額の30%  
※設立より2013年度までは、財政事情により暫定的に年60万円としていた。

### 3. 第1号議案 2013年度決算承認の件

地域活性学会 2013年度決算報告書				
貸借対照表				
2014年3月31日現在				
				単位=円
資産・負債別/科目			金額	備考
資産の部	流動資産	普通預金(三菱東京UFJ)	918,790	
		流動資産合計	918,790	
資産合計			918,790	
負債の部	流動負債	前受金	20,000	2014年度会費
		預り金	5,685	
		流動負債合計	25,685	
	負債合計			25,685
正味財産の部			893,105	
(うち当期収支差額)			1,285,757	
負債及正味財産合計			918,790	

## 地域活性学会 2013年度収支報告書

2013年4月1日～2014年3月31日

単位=円					
収入の部	予算	決算	差額	2012年度(参考)	備考
年会費収入	5,300,000	5,559,500	259,500	4,712,500	
大会参加費	1,200,000	1,919,105	719,105	1,163,000	高崎経済大学からの補助金25万円を含む
研究誌掲載・冊子収入	350,000	612,000	262,000	501,000	うち投稿料36万円、冊子販売収入25.2万円
利息収入・雑収入	1,000	447	-553	330	
合計	6,851,000	8,091,052	1,240,052	6,376,830	
支出の部	予算	決算	差額	2012年度(参考)	備考
大会開催費 ※	2,200,000	1,840,447	-359,553	2,145,994	第5回研究大会(高崎経済大学)開催費
学会誌出版費	2,000,000	2,152,500	152,500	1,986,810	「地域活性研究」第5号発刊
印刷費	1,200,000	1,537,515	337,515	1,120,350	第5回研究大会論文集発刊
部会費・支部活動費	300,000	125,685	-174,315	56,140	関東支部、近畿支部活動費
送料	100,000	145,565	45,565	65,990	会員への各種送付物
会合費	50,000	127,112	77,112	77,700	理事会、委員会開催費用、一部支部活動費を含む
消耗品費	50,000	109,494	59,494	113,820	封筒、事務局用消耗品
支払手数料	150,000	136,977	-13,023	123,376	自動引落システム(三菱UFJフック)使用手数料、振込手数料
事務委託費	630,000	630,000	0	630,000	月52,500×12か月
旅費交通費	100,000	0	-100,000	51,680	大会準備のための交通費は大会開催費で計上
合計	6,780,000	6,805,295	25,295	6,371,860	
収支	予算	決算	差額	2012年度(参考)	
当期収支	71,000	1,285,757	1,214,757	4,970	
※大会開催費内訳【大会論文集は印刷費より支出】					
大会関係支出					
	費目	金額	備考		
	謝金	66,822	シンポジウム4名		
	旅費交通費	396,900	特別講演者・パネリスト・事務局		
	懇親会費	329,000	交流懇親会		
	弁当代	54,000	役員・スタッフ他		
	会場費	0	高崎経済大学より無償提供		
	学生アルバイト	317,525	24名		
	運営費等	367,500	事務局人件費、看板制作費等		
	印刷費	308,700	広報用チラシ等印刷費ほか		
		1,840,447			


## 監 査 報 告 書

地域活性学会  
会長 大宮 登 殿

当学会の2013年4月1日から2014年3月31日までの収支報告書及び、2014年3月31日現在の貸借対照表は、当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

2014年 6 月 13 日

監事

佐藤 公俊 

## 監 査 報 告 書

地域活性学会  
会長 大宮 登 殿

当学会の2013年4月1日から2014年3月31日までの収支報告書及び、2014年3月31日現在の貸借対照表は、当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

2014年 6月 19日

監事

熊谷敏一



## 監査報告書

地域活性学会  
会 長 大宮 登 殿

当学会の2013年4月1日から2014年3月31日までの収支報告書及び2014年3月31日現在の貸借対照表は、法令に従い当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

2014年4月10日

公認会計士

平野 毅



#### 4. 第2号議案 2014年度予算案・事業計画案承認の件

##### (1) 予算案

地域活性学会 2014年度予算案					
2014年4月1日～2015年3月31日					
収入の部 <span style="float: right;">単位=円</span>					
	予算	2013年度決算	差額	2012年度(参考)	備考
年会費収入	6,000,000	5,559,500	440,500	4,712,500	
大会参加費	1,500,000	1,919,105	-419,105	1,163,000	
研究誌掲載・冊子収入	500,000	612,000	-112,000	501,000	投稿料を含む
利息収入・雑収入	500	447	53	330	
合計	8,000,500	8,091,052	-90,552	6,376,830	
支出の部					
	予算	2013年度決算	差額	2012年度(参考)	備考
大会開催費	2,000,000	1,840,447	159,553	2,145,994	第6回研究大会(オホーツク)開催費
学会誌出版費	500,000	2,152,500	-1,652,500	1,986,810	「地域活性研究」第6号発刊。今回よりWeb化。抜き刷りおよび図書館寄贈分は冊子版作成
印刷費・通信費	800,000	1,537,515	-737,515	1,120,350	ホームページ維持費、各種印刷物
支部・部会活動費	1,000,000	125,685	874,315	56,140	支部研究会、部会開催時の諸謝金、会場費等
送料	200,000	145,565	54,435	65,990	会員への各種送付物
会合費	100,000	127,112	-27,112	77,700	理事会、委員会
消耗品費	100,000	109,494	-9,494	113,820	封筒、事務局用消耗品
支払手数料	150,000	136,977	13,023	123,376	自動引落システム(三菱UFJバンク)使用手数料、振込手数料
事務委託費	2,400,000	630,000	1,770,000	630,000	収入額の30%
旅費交通費	500,000	0	500,000	51,680	支部研究会への理事出席旅費等
合計	7,750,000	6,805,295	944,705	6,371,860	
収支					
	予算	決算	差額	2012年度(参考)	
当期収支	250,500	1,285,757	1,035,257	4,970	



## (2) 事業計画案

### ①2012~2013 年度重点課題 (昨年度からの継続の基本方針)

#### 1. 組織改革による学会の活性化

##### (1) 理事会の改革

- ・理事の役割交代と理事の増強

##### (2) 支部組織の設立

- ・北海道支部 (代表 木村)
- ・東北支部 (代表 小野)
- ・関東支部 (代表 岡本)
- ・中部・北陸支部 (代表 中森)
- ・近畿支部 (代表 橋本)
- ・中国・四国支部 (代表 那須)
- ・九州・沖縄支部 (代表 永松)

##### (3) 支部研究大会の開催

- ・年1回以上の支部研究大会の開催

##### (4) 会員の拡充

- ・支部の活性化による新会員獲得

##### (5) 政策提言の実施

#### 2. 国や他団体と連携した地域活性化セミナーの連続開催

##### (1) 国の施策に関する東京ミニセミナー&ワークショップの開催

- ・年4~5回程度
- ・50人~100人程度の小講義とワークショップ
- ・日本地域政策学会、日本公共政策学会、地域活性化機構、地域公共人材開発機構、公立大学協会、全国大学実務教育協会、JCなどとの連携事業の開催

##### (2) 地方でのミニセミナー&ワークショップの開催

- ・支部からの要望に応じて開催

#### 3. 地域活性機構との連携強化

##### (1) 地域活性機構の人的支援

##### (2) 地域活性機構との連携事業の創出

- ・東京ミニセミナー&ワークショップの学会との共催

### ②各委員会の計画

#### 広報交流委員会

会員獲得を主たる目的としつつも学会が持つ資源を内外に広報することを使命としている。本年はさらに内外に広げる活動を実施する。

1. セミナーの開催 (地域活性機構との共催)
2. 懇親会 (セミナー終了後、適宜意見交換の懇親会開催)
3. 国内外への情報発信、研究成果の積極的な発信およびその企画

#### 総務委員会

学会のシンクタンク機能の発揮、地方支部との連携による地域における実践活動に向けて精力的に活動を行いたい。

## 5. 第3号議案 役員一部改選の件(案)

### 1. 改選内容および理由

#### 副会長・理事の退任

野中資博（島根大学） 病気療養のため

#### 理事の交代

福浦裕介（内閣官房）→福島直樹（内閣官房） 内閣官房の人事異動のため

#### 監事の交代

熊谷敏一（内閣官房）→川原英典（内閣官房） 内閣官房の人事異動のため

#### 理事の新任

黒瀧秀久（東京農業大学）

野中副会長の退任に伴い、学会誌編集委員長は、中嶋聞多理事に交代する。

2. 役員一覧（改選しない役員を含む）

	役職	名前（所属）	委員会／役職	備考
	特別顧問	清成忠男（事業構想大学院大学）		
1	会長・理事	大宮登（高崎経済大学）		
2	副会長・理事	高松和幸（獨協大学）	広報交流委員会①	委員長
3	副会長・理事	舘逸志（内閣府）	研究推進委員会①	委員長
4	<b>副会長・理事</b>	<b>野中資博（島根大学）→退任</b>		
5	理事	東英弥（事業構想大学院大学）	広報交流委員会②	
6	理事	伊藤一（小樽商科大学）	研究推進委員会②	
7	理事	上西康文（白百合女子大学）	総務企画委員会①	
8	理事	緒方修（NPO 法人アジアクラブ）	研究推進委員会③	
9	理事	岡本義行（法政大学）	学会誌編集委員会②	関東支部代表
10	理事	小野浩幸（山形大学）	研究推進委員会④	東北支部代表
11	理事	尾羽沢信一（法政大学）	総務企画委員会②	委員長
12	理事	木村俊昭（東京農業大学）	広報交流委員会③	北海道支部代表
13	理事	櫻井常矢（高崎経済大学）	広報交流委員会④	
14	理事	柴田いづみ（結いのまちづくり研究所）	学会誌編集委員会③	
15	理事	末松広行（農林水産省）	広報交流委員会⑤	
16	理事	鈴木孝男（宮城大学）	総務企画委員会③	
17	理事	園田正彦（学習院大学）	学会誌編集委員会④	
18	理事	滝本徹（事業構想大学院大学）	広報交流委員会⑥	
19	理事	坪井明彦（高崎経済大学）	学会誌編集委員会⑤	
20	理事	中嶋聞多（事業構想大学院大学） →学会誌編集委員長兼務	総務企画委員会④ 学会誌編集委員会①	委員長
21	理事	永松俊雄（崇城大学）	総務企画委員会⑤	九州・沖縄支部代表
22	理事	中森義輝（北陸先端科学技術大学）	総務企画委員会⑥	中部・北陸支部代表
23	理事	那須清吾（高知工科大学）	学会誌編集委員会⑥	中国・四国支部代表
24	理事	根本祐二（東洋大学）	広報交流委員会⑦	
25	理事	橋本行史（関西大学）	総務企画委員会⑦	近畿支部代表
26	理事	藤田昌弘（大手前大学）	研究推進委員会⑤	
27	理事	村岡元司（早稲田大学）	学会誌編集委員会⑦	
28	理事	<b>福浦裕介（内閣官房）</b> →福島直樹（内閣官房）異動のため	研究推進委員会⑥	
29	理事	横山典弘（日本政策金融公庫）	学会誌編集委員会⑧	
30	監事	<b>熊谷敏一（内閣官房）</b> →川原 英典（内閣官房）異動のため	研究推進委員会⑦	
31		佐藤公俊（高崎経済大学）	広報交流委員⑧	
32	<b>理事</b>	<b>黒瀧秀久（東京農業大学）</b>	学会誌編集委員会①	新任
32	本部理事	御園慎一郎（愛知東邦大学）	事務局長	

○広報交流委員会委員長 高松和幸（獨協大学） 委員 8 名（委員長含む）

○研究推進委員会委員長 舘逸志（内閣府） 委員 7 名（委員長含む）

○学会誌編集委員会委員長 野中資博（島根大学）→中嶋聞多（事業構想大学院大学）  
委員 8 名（委員長含む）

○総務企画委員会委員長 尾羽沢信一（法政大学） 委員 7 名（委員長含む）

# 地域活性学会

事務局

〒107-8411

東京都港区南青山 3-13-16

事業構想大学院大学内

TEL 03-3284-8411

メール [chiiki@mpd.ac.jp](mailto:chiiki@mpd.ac.jp)

URL <http://www.hosei-web.jp/chiiki>